

# 1 上下水道局令和6年度の予算編成について

## (1) 基本的な考え方

料金収入は、水道料金、下水道使用料とも、新型コロナウイルス感染症の拡大以前から減少傾向にあり、コロナ禍からの経済社会の正常化に伴う回復が見込まれるものの、厳しい状況が続いております。加えて、電力費は、依然として高い水準にあり、安定的な事業運営に非常に強い影響を及ぼしております。

そうした状況においても、市民生活や社会活動を根底から支える重要なライフライン事業の使命を将来にわたって果たすため、施設の老朽化対策や南海トラフ地震を見据えた地震対策、大雨に対する備えとしての浸水対策などに取り組んでいく必要があります。

このように、上下水道事業を取り巻く経営環境は極めて厳しい状況が続いておりますが、持続可能で強靱な上下水道システムの構築に向け、これまで以上に、効率的かつ効果的な事業執行に努めるとともに、将来を見据えた投資を積極的・計画的に行うことにより、お客さまに信頼される名古屋の上下水道事業を維持していきます。

## (2) 主要事業

### ①水道基幹施設の整備

浄水場や配水場などの水道基幹施設について、老朽化した施設の更新及び耐震化を計画的に進め、災害に対する安全性の向上を図ります。また、水源水質の急変など水源をめぐるリスクにも対応できるよう施設整備を行い、給水の安定性の確保を図ります。

### ②配水管の更新及び耐震化

老朽化した配水管について、計画的に更新及び耐震化を進めます。特に地震発生時における被害の低減に向けて、効果的な配水管の耐震化を進めます。

### ③下水道基幹施設の整備

水処理センター、ポンプ所及び汚泥処理場などの下水道基幹施設について、老朽化した施設の改築を計画的に進めます。また、水処理センターを再構築するための取り組みを進めます。

災害等の発生時においても施設の機能が確保できるよう耐震化及び耐水化を進めるとともに、長時間停電に対応できるよう非常用発電設備の増強を進め、施設の強靱化に取り組みます。

#### ④ 下水管の改築及び耐震化

老朽化した下水管の調査と改築を計画的に行います。特に指定避難所等と水処理センターを結ぶ下水管などの重要な下水管については、優先的に耐震化を進めます。

#### ⑤ 浸水対策

名古屋市総合排水計画に基づき、名古屋駅周辺を含む中川運河上流地域において、浸水対策を推進します。また、その他の地域においても、改築・更新にあわせた雨水排水ポンプの能力増強等を進めます。

#### ⑥ 水環境の向上

伊勢湾や河川の水環境を向上させるため、下水道未整備地域の解消や合流式下水道におけるさらなる水質浄化を進めます。堀川上中流部及び新堀川上流部においては、都心部のまちづくりに貢献するため、将来的な分流化を目指す中で、雨水幹線の整備や地域を限定した分流化の整備などを進めます。

(3) 新規・拡充事項

(水道事業)

(単位：百万円)

番号	事項名	概要	令和5年度 予定額	令和6年度 見積額
1	春日井浄水場凝集沈澱池の更新	水源水質の変化にも柔軟に対応できる横流式沈澱池に更新	1,039	1,960
2	鳴海配水場2号配水池の更新	耐震性の向上を図るため、鳴海配水場2号配水池を更新	567	700
3	地震発生時の被害低減に向けた配水管の耐震化	南海トラフ地震発生時における被害の低減に向けて、効果的な配水管の耐震化を実施	—	未定

※事項名、見積額等については今後変更になることがあります。

(下水道事業)

(単位：百万円)

番号	事項名	概要	令和5年度 予定額	令和6年度 見積額
4	空見スラッジリサイクルセンター第2期焼却施設の整備	老朽化の進んでいる山崎汚泥処理場の代替施設として、空見スラッジリサイクルセンターの第2期焼却施設及び関連施設を整備	116	2,351
5	下水道基幹施設の非常用発電設備の増強	災害等による長時間停電時においても汚水処理機能を確保するため植田水処理センターなどの非常用発電設備を増強	803	688
6	水処理センターの再構築（中南部グループ）	山崎水処理センターの改築（堀留水処理センター及び熱田水処理センターの廃止を含む）に伴う汚水送水管の設計等	193	185
7	名古屋駅周辺を含む中川運河上流地域の浸水対策	名古屋中央雨水調整池、新道第2雨水調整池及び広川ポンプ所の整備	3,550	5,426
8	堀川上中流部及び新堀川上流部におけるさらなる水質浄化	堀川上中流部及び新堀川上流部における雨水幹線の整備や地域を限定した分流化の整備、水質調査の継続	56	530

※事項名、見積額等については今後変更になることがあります。